

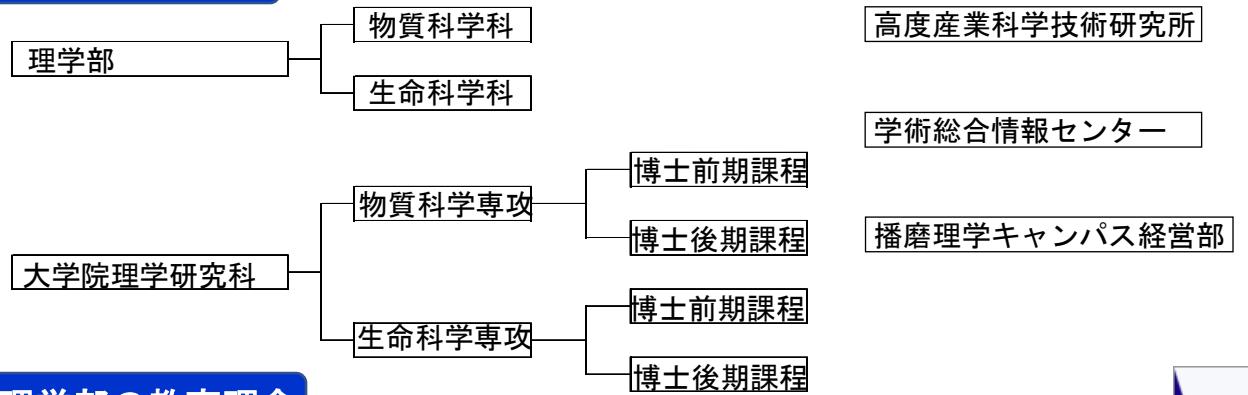
# 兵庫県立大学 播磨理学キャンパスの取組について



令和7年12月24日

# 兵庫県立大学 播磨理学キャンパス概要

## キャンパスの組織



## 理学部の教育理念

自然科学の諸分野の基礎を幅広く研究し、教育する。

### 《学びの特色》

- ①学際的な研究と教育を行う。
- ②最先端の研究を推進し、それを背景とした教育を行う。
- ③兵庫県の先端科学技術振興を担う人材を育成する。

## 沿革

|          |  |
|----------|--|
| 昭和60年 4月 | 姫路工業大学 工学基礎研究所開設                           |
| 平成 2年 4月 | 理学部設置（物質科学科・生命科学科）                         |
| 平成 3年 4月 | <b>播磨光都キャンパス竣工</b>                         |
| 平成 6年 4月 | 大学院修士課程設置（物質科学専攻・生命科学専攻）                   |
| 平成 8年 4月 | 「大学院理学研究科修士課程」を「同博士前期課程」に名称変更              |
| 平成11年 4月 | 大学院理学研究科博士後期課程設置（物質科学専攻・生命科学専攻）            |
| 平成14年10月 | 連携大学院開設                                    |
| 平成16年 4月 | 21世紀COEプログラム（生命科学分野）の指定                    |
| 平成19年 4月 | <b>県立3大学の統合により、兵庫県立大学を開学</b>               |
| 平成19年 6月 | 大学院物質理学研究科・大学院生命理学研究科を設置                   |
| 平成23年11月 | ピコバイオロジー研究所設置                              |
| 平成25年 4月 | グローバルCOEプログラムに採択                           |
| 平成29年 4月 | 博士課程教育リーディングプログラムに採択                       |
| 令和3年 4月  | <b>兵庫県立大学が公立大学法人に移行</b>                    |
| 令和3年10月  | 大学院生命理学研究科に5年一貫制のピコバイオロジー専攻を設置             |
|          | 物質理学研究科にフォトサイエンスコース、生命理学研究科にピコバイオロジーコースを開設 |
|          | 大学院理学研究科（物質科学専攻・生命科学専攻）を設置                 |
|          | 物質科学専攻、生命科学専攻の融合点として、情報理学研究室を設置            |



キャンパスの配置図

# 播磨理学キャンパス 学生数・教職員数 (R7・4・1現在)

## 学生数

| 学部等          | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生以上 | 合計  |
|--------------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 理学部          | 175 | 172 | 192 | 208   | 747 |
| 理学研究科 物質科学専攻 | 前期  | 34  | 30  | 1     | 65  |
| 理学研究科 生命科学専攻 |     | 32  | 21  | 1     | 54  |
| 理学研究科 物質科学専攻 | 後期  | 4   | 8   | 4     | 16  |
| 理学研究科 生命科学専攻 |     | 6   | 6   |       | 12  |
| 合計           |     |     |     |       | 894 |

## 教員数

| 区分           | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 合計 |
|--------------|----|-----|----|----|----|
| 理学研究科 物質科学専攻 | 18 | 17  |    | 12 | 47 |
| 理学研究科 生命科学専攻 | 13 | 12  | 1  | 11 | 37 |
| 高度産業科学技術研究所  | 5  | 2   |    | 3  | 10 |
| 合計           | 36 | 31  | 1  | 26 | 94 |

## 職員数

| 区分 | 職員 | 事務<br>嘱託員等 | 合計 |
|----|----|------------|----|
| 合計 | 13 | 27         | 40 |

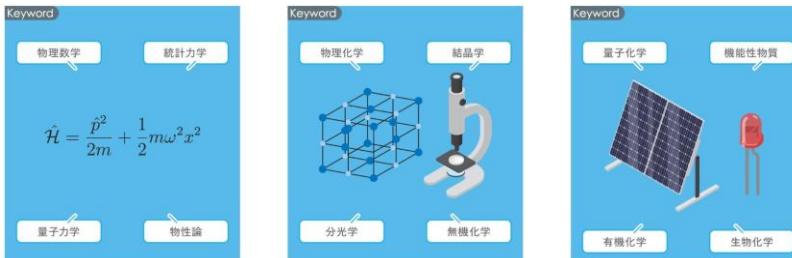
# 物質科学科・生命科学科の特色について

- 伝統的な学問の枠組みを越え、物質と生命の学際的な視点から教育・研究を行い、新たな科学領域を切り拓き、社会を牽引できるリーダーを育成
- 大型放射光施設「SPring-8」、X線自由電子レーザー施設「SACLA」、西はりま天文台 「なゆた望遠鏡」など、兵庫県内にある世界最先端の研究施設が利用可能

## 物質科学科の特色

——物質の本質とメカニズムを追究し、総合的に活用する柔軟な発想を学ぶ

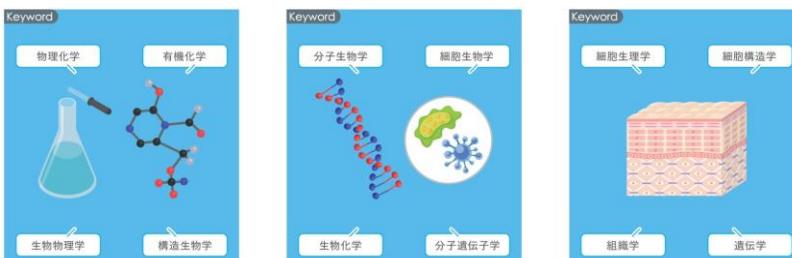
- ① 最先端科学技術を修得し、新しい領域を開拓する科学者へ
- ② 物質の物性と反応に関する、深い理解と洞察力を身につける
- ③ より専門性を深めたきめ細かなコース設定(「物性基礎」、「物性」、「物質」)で、多様な選択が可能に



## 生命科学科の特色

——生命現象への深い理解と洞察力を身につけた、世界に通用する人材の育成を目指す

- ① 世界トップレベルの研究に基づいた教育
- ② 急速な生命科学技術の進歩を先導する人材育成
- ③ 生命現象への深い理解と洞察力を養うカリキュラムを配置
- ④ 学生一人ひとりの志望・適性に応じた3つのコース(「生体物性」、「生体分子」、「細胞」)を設定



# 理学研究科の取組事例 ①

## オープンキャンパスの開催

高校生、保護者等を対象に、オープンキャンパスを開催

- ・理学部や入学試験の概要、教員免許取得の説明
- ・研究室や学生寮の見学
- ・相談コーナーの設置(入試、就職、学生生活等について先輩学生、教職員が回答)

※R7年度:697名が参加(R7. 8. 8開催)



## 夏のリコチャレの受入

女子中学生を対象に、理工系分野に興味・関心を持ってもらうことなどを目的として、研究室見学、模擬実験、交流会を実施

※R7年度:たつの市内在住・在学の女子中学生12名が参加  
(主催:たつの市。R7. 8. 26開催)



# 理学研究科の取組事例 ②

## 西播磨フロンティア祭への出展

播磨科学公園都市のにぎわい創出等を目的に開催される  
「西播磨フロンティア祭」に出展

※R7年度:顕微鏡による葉脈標本の観察、天体観測等を実施  
(R7. 10. 24開催。イベント全体の来場者約1万6千人)



## サイエンスカフェの開催

小・中・高校生、保護者を対象にサイエンスの  
楽しさを経験してもらうことを目的に開催

※R7年度: R7. 11. 1開催。参加者68名

### 第一回 カフェ・カガク・コウト Science for Future

わたしが  
主役!  
ウソ? ホント?  
調べて初めてわかる  
プラナリアの世界

日時: 2025年11月1日(土) 13:30~14:30  
場所: ケミプロ化成 先端科学技術支援センター  
セミナールーム1

講演者: 梅園良彦(うめそのよしひこ)博士(兵庫大・院理)  
進行役: 後藤忠徳(ごとうただのり)博士(兵庫大・院理)

対象者: 中小高生および一般

※ 小学生3年生以下は保護者の同伴が必要  
※ 先着80名(人数制限あり)

参加費: 無料

参加申し込み: 参加登録フォーム  
<https://forms.gle/x3U97yqM9kXXd9A6>

※ お手数ですが、1名ずつお願いいたします。

主催: 兵庫県立大学・大学院理学研究科  
共催: 光都わくわくラボ(代表: 平田邦生)  
後援: 兵庫県立大学院理学研究科  
ケミプロ化成 先端科学技術支援センター  
後援団体: 播磨広域事務組合教育委員会  
たつの市教育委員会  
上郡町教育委員会  
佐用町教育委員会



## Spring-8夏の学校・秋の学校

全国の学生・社会人対象とした  
Spring-8夏の学校・秋の学校の講師を理学研究科教員が  
務め、大学院教育の一環としている。  
※R7年度: R7. 7. 6~9 (83名参加)、9. 7~10 (56名参加)



(Spring-8 ウェブサイトより)

# SPring-8利用に係る理学研究科の取組

- 理学研究科では、SPring-8に近接する地の利を活かし、同施設を用いて、理系人材育成や、多様な研究機関、企業等と連携した放射光の利用研究を推進
- 今後とも、学生、研究者が研究等のため、これまで以上にキャンパスとSPring-8を往来するほか、学外の方がキャンパスやSPring-8を訪問することにより、交流人口の増加を図り、播磨科学公園都市の活性化につながることを期待

## 放射光研究拠点の整備・活用

SPring-8敷地内に放射光研究拠点を整備し、学生をはじめ県内外の関係機関の研究者等と連携した研究のスペース、実験装置の保管、直前組立や打合せ等のスペースとして活用



研究拠点

## SPring-8-II の利用(2019年度～)

2029(R11)年度のSPring-8-II の供用開始の初期段階から、新光源の性能を活かした研究(フィジビリティスタディ)で積極的にビームラインを利用するとともに、理研、JASRI等の関係機関と連携し、研究を推進

[参考]SPring-8-II の想定スケジュール:



(理研 SPring-8-II シンポジウム資料 (2023年8月) より)

## 県民向けセミナー等の開催

今後とも、物質科学・生命科学の研究内容を分かりやすく解説する県民向けセミナー、SPring-8やニュースバルの見学会等を検討

ご清聴ありがとうございました。